

やぐら

昭和36年
歳末號

発行所 門司市大字吉志1931
編集者 牧野正一
印刷所 下関市上田中町1374
有限会社 吉村印刷

今年度 トピックニュース

- 一、清末丸の進水
- 二、各坑出鉱量の新記録樹立
- 三、遠郷、金山両坑無災害五万時間の達成
- 四、下堤団地住宅の完成
- 五、遠郷坑入浴場及金山坑便所の完成
- 六、四ツ高坑破砕設備及肥料工場増設工及完成
- 七、遠郷坑トラクターシヨベル増強、及び四ツ高坑シヨベルローダー並びに試錐機の増強

一九六一年を回顧する

光陰矢の如し々の諺通り、早や今年も旬日を残すのみとなった。あれもしたかった、これもしたかったと、嘆くのが年末というものだろう。

さて今年も又、過ぎし一ケ年の社業を回顧する時となったが、過去一



と、国内の赤字を是非とも返上しようとする政府の積極政策はドル獲得のための布石としての金融引締策として打出され、金利の引上げ、銀行貸出しの制限等の形で市場に現われ、その結果は、全般的な金詰りをあふり、中小企業に於ける黒字倒産なる矛盾が到る処で見られるようになった、この金詰りの影響は証券界にも大きく現われ、従来、安定株といわれた動きの重い法人及団体等の所有する株が背に腹は代えられず市場に大量に売出された。安定株の大量放出は一般投機者にも大きな影響を及ぼし、株界は史上最高の動揺を惹起し、発狂者、自殺者の記事が巷を賑わすまでに至った。

かかる混沌たる経済条件の中で、脆弱なり企業の身乍ら大過なく今日を迎え、更には創業以来最高の売上げを記録した事を顧みれば、苦難な一年であっただけに特筆すべき業績であろう。次いで社長陣頭の保安問題であるが、これも売上げ業績に続いて創業以来の好成績といへるこの陰には社員諸君の保安意識が大きく向上したと、作業面における合理化促進の影響が顕著であったことが相伴ってなされた結果といへよう。然しこと保安に関してはひとたとへ三ヶ月に一回、否一ケ年に一回、小指の先の微傷たりとも疎そかに出来ぬのが保安であれば、更に災害絶滅を期して専念してこそ当然のことであろう。

厚生関係に就いては、遠郷鉱山の近代浴場の完成、金山鉱山のタイル張り便所の完成と浴場建設への着工、下堤社宅団地の完成、厚生年金還元融資による官前社宅（ブロック二階建）建設の決定と構想から現実へ発展しつつある。小企業にして尙この法外な厚生関係の充実には、形式は内容をも変化せしむの信念に燃ゆる社長が、鉱務社員の人間性の一層の高揚を希っての事業と察せられる。更に生産面に於ても昨年に引き続き設備が増強され、四ツ高鉱山においては四百屯容量の肥料倉庫の増設、六屯積トラックの二台増強、ST型クラッシュの設置、三百屯容量ドロマイト用鉄製タンクの設置、破砕工場上屋鉄骨スレート葺工事、一、五屯シヨベルローダー、の増入、遠郷鉱山においては、二五〇屯容量ドロマイト貯鉱場の設置、フェヤマント型ローラークラッシュ設置計画（発注済み）等がある。

最後に忘却出来ないのは、年頭に立案計画された、輸送力強化の課題は、海上輸送の強化となり、小型ながら鋼船（三百屯）の発注に踏切り去る十二月二十日、晴れの進水式に至った。このことも海運業者や大企業を経営する立場から見れば、とるに足らん些細な事であるが、薄ら寒い現在の経済界の動きの中で小企業ながら敢て鋼船建造に着手したと倒産が続く中でこの壮事を成し得た事は意義深いことではなからうか。

其の他の各部門に至っては夫々に批判すべき点は多分にあったようであるが、年頭に樹てられた今年度の運営の骨子は大体遂行され、その業績も社長の期待された線に近かったことは、先づ先づであったといえるのではなからうか、シングルベルの鐘の音とともに新春の足音も其処までできているようだ、共に一ケ年の汗を洗い落し、佳き年を家族と一緒に暖をとり乍ら迎へよう。

全国鉱山保安中央表彰 を受彰して

林 照 美

今回選ばれて、昭和三十六年度全国鉱山保安優良者として、中央表彰（普通保安技術職員の一部）を受彰しまして、無上の光栄と存する次第であります。

表彰式は十月十二日午後二時半より、東京通商産業省大講堂で、朝野の名士多数臨席のもとに、実に厳粛且つ盛大に挙行されました。尚一層の感激を覚えました。



通産大臣よりの栄えある表彰状を手にして、私はフト遙かなる松ヶ江の金山坑の諸君の姿を思い出し、万感胸に迫り思わず涙に咽びました。ああ！この栄光の表彰こそ、実に私の栄光でなく、私に対する表彰でなく、それこそ金山坑全員の、いや我梅崎鉱業全員に授けられた栄光

であり、表彰であるが痛感されまじた。今日のこの榮譽この受彰は実に社長、所長並びに小野田社各位の不断の温い御指導と、同僚各位の絶大な協力、そして金山坑諸君がこの至らぬ私を中心に、保安確保に懸命の努力を尽してくれた事が渾然一体となつて、実を結んだものと信じます。私は帰任して早速金山坑全員を集めて、表彰状を披露して以上の私の感激と所信を伝え、今後益々一致団結して、尚一層の保安成績の向上を固く誓ひ合った次第であります。上司、同僚各位におかれても、何卒今後従来以上の御指導、御激励を賜るよう切にお願ひする次第であります。

津森君 産業能率大学へ

最近各企業において生産性の合理化に歩調を合す意味から事務管理の近代化が叫ばれ、すでに相当な成績が各企業で挙げられているが、当社も遅巻乍ら、先づ事務社員に新しい事務管理の教育を実施することが年頭に立案され、予算及勤務の都合で営業関係の仕事に携わっている津森君に第一回派遣の白羽が当り、去る十一月六日から十

東京都世田ヶ谷玉川等々力にある産業能率大学に入学してもらった。同大学では期間中数回テストがあり及第したものは認定証が授与され三級事務管理士の資格が与へられる訳であるが、受講内容は、
一、経営事務管理
一、事務手続の分拆と改善
一、文書管理
一、W・S・P（作業簡素化計画）



「勤労感謝の日」表彰式 下記の如く本年度被表彰者の表彰が十一月二十四日社長室に於て行な

- れました。表彰者の方々に心からお祝ひ申し上げます。
- | | | | | | |
|-----|------|-----|------|------|-------|
| 金山坑 | 古庄遼夫 | 遠郷坑 | 土居喜生 | 四ツ高坑 | 岩繩 敏行 |
| 〃 | 細石庄八 | 〃 | 甲斐広次 | 〃 | 坂田ヒサノ |

言 〃李下の冠、瓜田の履 〃
と云う言葉がある。
鉄 即ち「李下不正冠、瓜田不納履」の事で、君子はたとえその必要を感じても、李の木の下では手を冠にあてる素振りや、瓜田の中で履物を履き代えるが如き、稍もすると人に疑いを持たれるような動作は決してなすべきでないと言

う、含蓄ある訓えである。
昔の人は自己を修めるに非常に厳しかったようである。君子ならずとも、人の上に立つ者は常に〃李下の冠、瓜田履〃の訓えを会得して置く必要がある。

会社の幹部にしろ、その地位にある者に対しては、その日常の行動に対し幾多の人々の注視のまなこが注がれている事を思えば尚更である。自分のサラリで飲んでいても、会社の金ではなかろうか、労組のではなかろうか、と曲解するのが世の常である。

友と交友を暖める意味で、キヤパレー、バーに出かけても第三者は彼奴は呑み遊んでばかりいるダラ幹と云い勝ちである。そのように指導者の一挙一動はあらゆる波紋を呼び、種々の問題を起し勝ちなのである。

〃軛はぬ先の杖〃と云うが、世のいわゆる幹部と云われる者は常に自己の行動を省みて、脱線行為は勿論、疑いを持たれるが如きことは大いに慎むべきである。〃李下の冠、瓜田の履〃の古人の訓えは、東西を問はず、今尚生きた教訓であり指導者幹部諸子の座右の銘ではなからうか。

一九六一年を回顧しますと、當日頃懸命に努力した積りではありましたが、夢がはかなく消え去ったように全く恥かしい気持ちで、真に申し訳なく思っています。それで遠郷鉱山の本年を振り返って見る事に致します。

一 概況

積込、運搬の機械化に就ては、昨年引続き向一層進み、トラクター、ショベル一台増強に依りまして、一段と能率向上に拍車をかけ得る様になりました。但し大割石積込作業におきましては、昨年秋季より実施致しました海岸に於ける積込作業を実施中です。

二 採鉱関係

切羽採鉱状況進展に伴いまして、表土下場の踊り場移設工事を九月末より実施に掛りました。降雨や色々の状況に依り若干遅延の止むなきに至り、十月、十一月と剣土作業

切羽に師走の北風が吹き荒んで又あわただしく年末が迫って来た。茲で過ぎし一年間を回顧して、検討と反省を試み、以って新しく迎える昭和三十三年の大飛躍の足掛かりとしたいものである。

先づ石灰石採掘量であるが、本年間に約四一七、〇〇〇屯出鉱し、昨年の約三九二、〇〇〇屯に比較して大いに向上したことに、金山開坑以来の最高実績である。

更に三月には四一、三七七屯月産と云う之れ又従来の最高成績を示した事も特筆しなくてはならない。然かもこの実績たるや、小野田社の需給状態により殆んど毎月出鉱を抑制されたに拘らずこの好成绩であったので、私達の確信する能力は優

云作業は大

思うにまかせず、分運れて居り、現在鋭意之が除去に邁進中でありませぬ。又切羽空孔もまたま踊り場移設作業中に頂部を取り除く計画にて取掛りました。思はぬ降雨に見舞はれ、九月十月は相当地に成績の低下を見た事は由訳ないことであります。然しこうした切羽

一九六一年の回顧

遠郷鉱長 浜 寿恵夫

の整備は一年に一回必ず実施しなければならぬことですが、来年度は之が実施時期の十分な研究を要するものと考へます。

三 出荷状況

毎月要請数量も大きくなり、非常にうれしいことではあったのですが満足すべき結果を得られなかつたことは残念でなりません。

に月産四万屯以上、年間五〇万屯達成は別に誇張でも何でもなく、早くその時期の到来する事を切望する次第である。

唯茲で問題となるのは孫目グロリーホールの出鉱能力の面であるが現在のように月産一万屯程度に目標

昭和三十六年を回顧して

金山鉱長 林 照美

を抑えられるのでは、能率上でも、採算上でも相当不利な条件が伴い、之が常に私達の悩みの種となつてい

るものである。せめて月産一万五千屯程度の目標にまでしたいと念願して止まない。次に作業の諸種の能率であるが、

四 砕鉱関係

現機械の能力を最大限に發揮、大きな故障もなく製品の向上、排石の回収、能率の向上に逐次進んだこと、は関係各員の努力の結果と思ひます。

五 保安関係

昨年十月より実施した「無災害記録五万時間達成」に邁進、之が目標達成を他

日その実現を見、社長殿より栄ある表彰を受け感無量なる目標十時間達成に邁進中、あと一歩の処で挫折したことは残念でなりません。

（九月二日、二九〇日・九四〇七八時間）然し之に依り向一層奮起、第一歩より出発、今度は十時間達成に、全員で努力中であります。

之れもあらゆる面に劇的向上を示し、例えば一工当りの採掘量を見て

も昨年七屯と向上し、殊にショベル丁場に於ては殆んど毎月一〇〇屯以上の好成绩を發揮しつつあり、誠に頼もしい限りである。

然しその反面の

露頭部を剣土した事は、今後のグロリー採掘に大いに役立つものと予想される。

最後に保安面であるが昨年に続き無災害五万時間達成運動も到達を目前に控えて四月に全く不慮の事故で重傷一件を出し誠に残念であったのは軽傷二件は発生したものの

昨年迄、

と厚生施設の実現を見、皆喜んで居りました。本年は浴場を設置して戴き鉱従業員一同非常に喜んで居ります。仕事が終り汗とホコリにまみれた身体を、温いお湯につかり、洗い落しきざりした気分になり家路につくときの気分は何とも云い表わせない爽快なものです。明日の生産意欲に大いに役立つものと感謝して居ります。

尚秋は一同一泊旅行をさせて戴き山の温泉郷天ヶ瀬にて、仕事を忘れたいに浩然の氣を養いました。

以上一九六一年を送るに当り、この一年を振り返り色々記して見ましたが、年頭に大きな望みを立てた事、の半分の一も達成出来ずこの年を送る事が残念でなりませんと同時に申訳なく「来年こそ」と張り切つて一九六二年を迎えたいと思ひます

数が全国に類を見ぬ程多い事に主因があり、担当者諸君の懸命の研究努力も一向実を結ばない事は残念の極みである。現在担当者以下関係者で鋭意その対策を攻究中である故、

新年度に於て必成の実績を挙げたいと切望している。

次に表土剣作業であるが、この能率は昨年と大して変化はないが、本年の大半を待望の孫目グロリー西側

露頭部を剣土した事は、今後のグロリー採掘に大いに役立つものと予想される。

最後に保安面であるが昨年に続き無災害五万時間達成運動も到達を目前に控えて四月に全く不慮の事故で重傷一件を出し誠に残念であったのは軽傷二件は発生したものの

の計を樹でたいと思つております。

今年の

歩みを顧みて

四ツ高鉱長 佐伯正二

大体に於て好成绩と云えよう。来年こそは絶対に無災害記録を持続したいものである。以上本年間の検討と反省をして見たが、終りに臨み金山諸君の一年間の労苦に対して深甚なる謝意を表する。

多忙に追われた昭和三十六年も愈々押し迫つて来ました。新たな年を迎えるに当り、四ツ高鉱山の今年歩みを振り返り、反省して其処から迎えるべき新年の指針を樹でたいと思ひます。当四ツ高坑にとっては幸いと申しますか、八幡製鉄、旭硝子両社からの需要がしきり、

残業に次ぐ残業の連続でしたが、苦土肥料関係は正月早々より注文殺到と嬉しい悲鳴の連続であった。お蔭とし癒はばお蔭で十月、十一月度はその売上げ実績に於て創業以来の成績を挙げることが出来、従業員一同大いに氣をよくなりました。然し残念なことには、常に社長、所長から勸告を受けている保安関係においては、各鉱山中最近是我が鉱山が最も香ばしくない成績にあること、このことは各従業員が保安意識の低下もさることながら、監督者であり、保安係員である鉱長の指導性の欠如と深く反省して居ります。来年度は当鉱山の一つの課題として汚名返上に専心したいと決意しております。

昨年同様、種々契約があり、需要に應えることが充分でなかつたが幸にも十一月初旬より破砕設備の強化に着手、近く完成の域に達しましたし、貯存鉱量の確保も試験器をつつと活用する時間的余裕がなかつたが残念であったが来年度はこれも十二分に活用して四ツ高鉱山百年の計を樹でたいと思つております。

の計を樹でたいと思つております。

の計を樹でたいと思つております。

の計を樹でたいと思つております。

の計を樹でたいと思つております。

天ヶ瀬紀行

遠 郷 坑

一九六一年九月三〇日社長の御厚意により、待ちに待った天ヶ瀬温泉への一泊旅行は決行された。本日も天ヶ瀬の朝はさわやかな。山の中波高し。ともあれ、斗酒酔さぬヤマトのおろちの面々を乗せて、バスは一路豊前路を南下、第一休憩の恩雙の彼方へと走る。稲穂はみのもり、頭を下げて吾等を見送る。ガイド嬢の首頭で百姓さん御苦労さんを合唱するやがてバスは山国川の清流に沿って山中に入る。八面の嶺も目近に迫る山国の溪流のほとり一城跡あり、後藤又兵衛の住いし跡とか。時移り、世変りたれば、古の英雄豪傑を語らんか、古城の老松の梢を渡る松風は蕭々として、そぞろものあわれを感ず。耶鉄洞門駅の踏切を横切れれば青の洞門である。全員下車記念撮影さすがの遠郷坑紳士諸士諸士も、パッカスの志によりよい気分になっている。



「コッコツ」一つ一つの鑿の跡に努力の偉大さを想いつつ、明りより対岸を見る静けき農村はゆつたりと思ふいでいる。山国川の激流も昔日の面影はなく、貸ボート等浮かびてのどけきばかり、ふと見れば河

原に「アラ恥かしいワ」と昨年の旅行写真コンテスト第一位の御二方が忽然と表はれた様思ったは吾のヒガ目か。元氣一杯深耶馬溪へ、谷間に伝はる種々の伝説を名調子の案内で楽しみつつ、蘆筆松を右に眺め、山紫水明の地を縫う。昨年十一月強行軍せし山道は今日も変わらず横たはる。時期未だ早しか、紅葉なき樹間にせせらぎの音を聞きながら昼食をとる。持参のウイスキーも空になり酔虎いよいよ佳境に入る。昼食四十五分間、出発！ 山間の狭き道を右折左曲峠を越し坂を下る。九州山脈をへい脱しつつ久大線豊後森に乗り入れる。

入る。その名を「天ヶ瀬温泉」と云う。駅前にて下車、吊橋を渡り、本日の夢を結ぶ天竜荘へ。先づ岩風呂に汗を流し、夕食、川魚に舌つづみを打ちつつ、演芸に日頃の疲れを忘れる間に、大広間の窓は何時しかたそがれて、山間地特有の霞がかかっていて。自由行動、土産物を求めて散策するもの、宿舎の窓より川辺の露天風呂に向って奇声を発するもの等々……解放の気分になった人々は山の彼方の天ヶ瀬の幸せなる一夜を充分に楽しんだことであろう。

別府慰安旅行記

秋の慰安旅行は、別府温泉へかねての念願が遂に実現、初秋の九月二十三、四日の連休を利用して決行された。

美しく澄み切った秋晴れの第一日。昭映前に集合した面々の顔も一段と晴れやかな笑顔……。貸切バスは北九州観光のデラックス型、ガイド嬢も可愛い純情嬢さん……。出発直前、梅崎社長が草を飛ばして、わざわざ御見送りに来られたのには一同大に感激す。バスは日豊線沿いに快適のスピードで一路別府へ向けて疾駆する。車内では早くもウイスキー瓶が持ち出されて、俄然陽気になつた。上気した面々の顔には日頃の苦労も、何処かに吹き飛ばしたような笑顔、哄笑、爆笑の渦巻き……。名調溢れるガイド嬢の民謡に……と聞きはれる中を、バスは昼前宇佐神宮に到着、揃って参拝して茶

唐津旅行記

四ツ高坑

九月三十日、快晴——下吉志に集合したも明る。午前七時貸切大型バスは唐津へ。車内では賑やかな爆笑がわき上った。内車内では賑やかな爆笑がわき上った。内車内では賑やかな爆笑がわき上った。内車内では賑やかな爆笑がわき上った。



その思い出は知る人ぞ知るのみであらう。天ヶ瀬川の激流は、滔々として岩を噛み、吾等の夢路は静かに過ぎて行く。

店々で昼食。午後行程に入ってから、午前と打って変わって悪道路となり、バスの揺れがはげしくなった。それでも折りから始まったのど自慢で大して苦にならない。爆笑と拍手の雪内も、ポッカー開いた別府灣が視界に現われて思わず歓声がる。バスは市内を横切って観海寺の旅館、錦園ヶ前に到着した。かつて部屋割りがあつたので、万事がトントン調子がよい。窓を開ければ別府市内が一望に遠く別府灣を背景にした温泉郷の夕景がすばらしく美しい。遠く街にネオンの色が輝き初める頃、四階大広間で宴会が始まる。揃いの浴衣姿で寛いだ皆の顔は誠に愉快そう。アルコールが廻り出す頃には若手諸君の得意流行歌が飛び出し、楽しい酒宴が展開して行き座は益々陽気となる……。明けて二……まだ夜の明け切らぬうらから、各室から笑声が始まる。まるで修学旅行の小字生のように余程うれしいのだろう。朝食は又昨夜の大広間、軽く朝酒一杯やって、ホノリとなった処で旅館を出発。車は尽きぬ名残りを惜しみつつ、別府市内を抜けて、猿の名所、高崎山に向う。然し運悪く、唯今霧匹々ならぬ。唯今三匹々にいささかがっかりして早々に引き上げる。再び市内に引き返して別府タワーで小憩、皆ここで土産物をどさどさ買い込んで出発……最後の帰路コースには一丁うんざりしたものの、車内は昨日からの思い出話に花が咲く。昼食は矢張り宇佐で休憩して快進する。行橋附近を過ぎる頃にはさすがの猛者連中も疲れ果てたのかあちこちで居眠りが始まる。昔恨街道に移って、右手はるかに金山坑の白い切羽が見えた時、やれ帰ったぞと皆ホッカリした表情であった。こうして楽しかった別府旅行も無事終わったのである。

雲仙旅行記

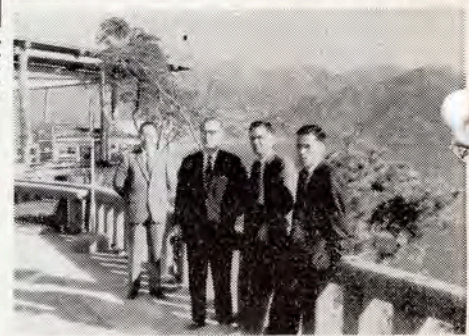
事務所

今年度の事務社員の秋季旅行は希望地を出して探偵に迷ったが大衆的であり乍ら且つ品度の高い処という点に絞り、やっと雲仙に決定した十月十二日、十三日が其の決行の日であったが、折角の雲仙旅行であるのに紅葉に少し早やかったのは残念であった、然しバスで案内される雲仙までの島原半島を包む有明海、橋

湾の優雅な眺めは、今までの何処の旅行にも増して得難いものであった。昔長崎に住んでいた英国人が世に紹介したとか云われる観光地雲仙はさすがに日本固有の美しさを象徴していることを再確認した。山際を走る大型バスも舗装された立派な道に何等不安も感ずることなく、移り行く豊かな風景を心行くまで楽しみ秘境温泉地に着いた。高原地特有の空気に落着いた環境は旅の疲れをいやすに充分であった。夜はおきまりの会食演奏で楽しみ、翌朝、バスで仁田峠に昇り、眼下に広がる千金の絶景を眺め、遙かなる天草に思いを寄せ、

「雲か山か、呉か、越か」の山陽詩の真隨に何時しか酔っていたようだ仁田峠を下り、慶長の昔、天草、島原を中心とするキリスト教者の血の苦斗、益田四郎時貞の奮戦せし原城址を右にみて、島原に着き、帰路は有明海を船で横断、大牟田に上陸。猛者共の夢の跡、三井、山川坑を眺め、市内見学二時間の後、出発。夕六時、門司に安着一同事無待望の慰安旅行を果した。

写真は途中の一眼、橋湾上より遙か島原半島を望む。中央は社長。



写真厚生だより

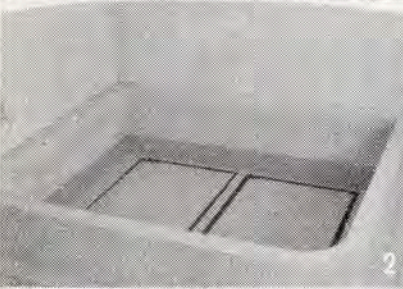


写真1、2は遠郷坑浴場。外觀は白色セメント塗り、浴室は白タイル張りの豪華版で温泉気分満点。
3は金山便所。ブロック建て、内部はタイル張り。
4、5、6は下堤団地社宅5棟。木造平屋建のモダン社宅。
4は玄関正面、5は外觀、6はサンルーム。

第二回採鉱課観善

ソフトボール大会記

昨年に引き続き第二回採鉱課観善ソフトボール大会が、菊薫る十一月三日文化の日を期して、華々しく挙行された。当日は夜来の雨全く上って文字通りの日本晴れ、松ヶ江南小学校グラウンドのダイヤモンドの白線が美しく映えていた。
定刻一〇時、新任菊地課長率ゆる小野田社採鉱課選手と牧野所長率ゆる梅崎社選手の和やかな挨拶があった。万場の拍手の響に主審のプレーボールが宣せられ、世紀の大熱戦が開始された。
何しろ口八丁で手八丁ばかりの迷選手揃いのこととて、珍プレーの続出でスタンドはヤンヤの喝采……追いつ追われつの大接戦が続き、結局八対七を以て梅崎社が昨年の雪辱を果し、恒見スポーツ寄贈になる優勝カップは牧野所長の手にはサンゼンと輝いた。



去る十一月二十三日は勤勞感謝の日であった。勤勞に対する感謝は資本家が労働者にすべきものであるとか、いや労働に戴いた労働者側が資本家にすべきであるとか、甚で種々愚問愚答が繰り返されたが、日々勤勞に對して心から感謝の念を抱くことは羨ましいことである。一日は無事な勤めあげて家路に向う気持は労働者ならでは格別なものである。

愚 感 K・K 生

「労働は神聖なり」の言葉があるが、一体労働そのものが神聖なのか、労働を通じて生きることが神聖なのか、一寸断じ難いが、今日の労働が決して楽なものではなく、その職種により多少の差はあるが、苦痛を伴うものであることは否定出来ない事実であろう。俗に人間のことを「万物の靈長」といいますが、人間が靈長

たる所以は人間は他の動物に對して其の對象を深く広く複雑に考へる偉大な思考力を有すること、更には人間は絶ゆる動物の中で自己の手をもつて物を生産し得る唯一のものであること、即ち労働が可能な動物であるということが決定的相異でこれが「万物の靈長」と名付けられる根本的要因である。

人間こそは生れながらにして勤勞を最大の權利として義務として、この世に処して行くことを原始時代から約束付けられた高度な動物なのである。更に意義あることは人間の生活は他動物の如く弱肉強食の斗争の生活でなく、勤勞即生活、とこの両側面を密接且不可分の一体として生

きて行く平和の動物である。勤勞の持続は生活、生存の持続に連がり、更には一家の子々、孫々の繁栄にも連がることを意味し、生きて行くことの幸を喜ぶことは、とりも直さず勤勞出来得る幸せの感謝に通ずることである。斯如く勤勞そのものの内蔵する歴史的崇高な使命を知るならば、吾々は無事に勤め果した日々の勤勞を通じ、大地に職場に、使用者に、諸先輩に、又同僚に、そして父母に、妻子に勤勞遂行の無事を心から感謝することが当然で且、人間らしい有り方ではなからうか、今日吾々の周囲に立派な知脳と肉体を有し乍ら尙、仍く職場とてなく妻子を抱え、暗い貧しい日々を過している人々のいることを思う時満足とは云えずとも職があり、貧しくとも明るく妻手揃って生活出来ることは大きく

さして私達の毎日仍く鉦山の夢を見ることにしよう。油照りの炎暑がチリチリ切羽を焼きつける。ハンドルは焼けつくように熱い、それでも探針手達は作業服はビッシリ濡らし乍ら穿孔作業を続けなければならぬ。おまけに不快な岩機の震動……凍てつくように底冷えのする切羽。握るさく岩機のハンドルは氷より冷い。ガッガッ震える体にハン

鉦山に夢を

ドルを支える手は見る見るうちに鈍く青く交って行く。

ここで私は夢を見る……この穿孔作業が何とかならないものだろうか？ 人工衛星が飛び、月世界が探検出来ようとするのに、私達の鉦山では依然として、熱い冷いさく岩機を使わなければならない。せめてあの不愉快な震動のないさく岩機は出来ないか。

酔 狂 生

そうなると全く反動のない、しかも推力を殆んど必要としないさく岩機の出現が望まれる。

普通我々の使用するハンドハンマは五〇—一〇〇匹の推力で、充分な岩石に押しつけなければ、充分な穿孔能力は発揮出来ないであつて、押しすに遊ばせて置けばはね返つて了つて、穿孔速度は半分にも達しないであらう。又押せばその反動が人体に伝つて作業者を疲労させることになるのである。

ジャンボーやワゴンドリル等で使用される場合は、大きな推力が必要であつても、反動が多少あつても一向差支えないのであるが、レッグハンマーのように人力に一部頼らねばならないものや、ハンドハンマーのように全く人力だけで操作する場合には、どれほど相当の推力を必要としなければならぬ。これに大きな問題点があるのである。

若し仮りに推力も必要なく、無反動のさく岩機が出現したら、作業者は唯さく岩機を支えているだけになり、軽く岩石に押しつけていければ、「のみ」は送り込むように判り進んで行く事になり穿孔作業は著しく空気によつてピストンを往復動させて「のみ」を打撃する方式では、推力を殆んど必要とせず、反動のないさく岩機の出現は困難であらう。

然しこの発達した科学時代に、それらの悪条件を克服するさく岩機が出現しないはずはない。ジェット機が世界の旅程を著しく短縮し、原子力船や原子力発電が可能になつたような時代に、独りさく岩機だけが旧態依然と云う事は誠に恥しい。

私の夢は更に広がつて行く……穿孔機は穿孔器五台ついたワゴンドリルを一台宛受持つている。最少抵抗線、孔長、孔間隔の諸元が現場事務所からの指令によつて、自動的に決定され、機械がいつも簡単に切

羽に定着される。ボタンを押すと一斉に穿孔が開始される。昔と違つて孔径は一〇〇耗の大口径孔である。アツと云う間に穿孔が進んで行く。穿孔機は唯これを見ているだけでよい。やがて孔長二〇米の穿孔完了孔、装薬—これも自動装填して行く。そして大発破……

こうなつたら人間は全くロボットに過ぎなくなる。穿孔中は昨夜デートした彼女の甘いささやきを思い出すと、今夜何処で呑もうかと考えようとして勝手である。

アッ！ 夢が覚めた。発破予報のサイレンが高々と鳴り始めた。私の限りない、楽しい夢も終わったようだ。煙草一服吸い込んで切羽に目を移すと、今日も又師走の寒風がヒューヒューと吹き荒んでいる。

ああ！ 私の夢は所詮儚かない夢であらうか？ 発破準備完了の二声のサイレンが寒々とした鉦山の空に鳴り亘る。

日本柔道敗れたり

日本古来の伝統ある柔道が、世界選手権に於て完敗を喫した事は、全じ同好の士として、残念と云ふよりは、その不甲斐なさに、痛憤するものである。理由はともあれ、あの優勝したオランダのヘーシンク五段の研究心及びその練習量は、日本選手のと比較した場合、雲泥の相違あるものと感ずる。余りに日本側は策を弄し又、相手選手を只強いという小噂を聞いただけで、之に對する實際の研究は成さずに向

な幸せというべきで、勤勞感謝の日一の意義も其辺にこそあるようだ。

試合終了後は何とでも云える、只過去に於て「柔道王国日本」として世界に君臨して来た甘い考へを捨て去る機会を得たものと思われ、次期オリンピックも東京で行なわれる、この際大いに奮起し、必らず世界制覇を成し得る如くあらゆる面からの研究と練習を積み、之が汚名を取り返す様努力すべきと思われ

H 生



「世界大戦争」を見た人は、この映画を面白い映画だと見流した人はいないと思います。あの映画を見ていかに平和ということが大切か、又同じ人間同士しっかり信じ合わなければいけないかということがよくわかったと思います。今も核実験や又その他国際間でトラブルが起っている現在、どんな小さな事でも私達人類滅亡のあの恐ろしい「原爆」に私達みんなが引きこまれることは、まちがいないと思います。

映画 世界大戦争を見て

高一 浜 寿美子

私達は戦争の恐ろしさを知らない小さいころよく戦争が始まればいいのに、きつと凄いだらうな等と先生の前で話をしました。先生は「あなた達は戦争の恐ろしさを知らないからそんなことが云へるのよ」とおっしゃった。その時はまだなにかその意味がわからなかった。その恐ろしさということが、どう恐ろ

しいのかわからなからである。でも今その意味がわかったような気がする。世界大戦争のあの恐ろしい場面が「架空」のものといえるだろうか、いや、それが明日にも現実となつて私達に襲いかかって来るかも知れないのだ、今迄築いて来た私達人類の幸福が、又私達の住んでるこの地球が、僅か数人の人達の感情で、終りをつけてもいいのだろうか

核爆発実験を再開しました。丁度ベルリンのゴタゴタが表面化して、東西両陣営の間に緊張がみなぎっていた時でもあり、この実験競争は、世界を大きく不安の渦に巻きこまずにはいられませんでした。私はこのニュースを聞いて「核爆発実験の再開だなんていったい大人達は何と想像してこんなバカなことをするだろう」と思いました。この三年間の間ともかく核爆発実験は停止されてきました。

ソ連が実験再開を宣言し又実際に実験開始、でも世界中の平和を愛する人達の力で実験はすぐ取止めになるのではないかと思っていました。然し取止めにならず実施された。尚又ソ連の宣言に真向から非難した。皆のアメリカが実験を再開するに至ってはもう何とも云えない気持ちです。これが進んで、第三次世界大戦といえ人類滅亡の危機がひき起されるのではないかと不安の言葉が至る処で交わされています。

「戦争」なんていやな言葉でしよう。国と国とが憎しみ合い、核兵器という恐ろしい武器を使って同じ人間同士が殺し合う、そんな恐ろしいことが、又再び行われるとしたら現代人はまったく原始人以上に野蛮だというほかありません。私達は決して殺し合うために生まれて来たのではありません。生きたい。生きて楽しく平和に暮らしたい。これが本當の人間の気持ちだと思います。誰も戦争が好きでこんな事を起そうとしているのではないと思います。人間はもともと肌の色が違っていても又言葉が通じなくても、お互には結局仲間である筈です。平和な世界を築く事は決して不可能ではない筈です。お互いに手を取り合つてあの映画のように悲惨な出来事を、現実不起すことのないように、私達は努力しなければいけないと思います。これは「世界大戦争」の感想文でなく戦争に對しての私の感想文になりましたが、この映画を見て「戦争」の恐ろしさがつくづく感じられました。

作業日記 (職場の明暗)

S H

○月○日
A君の勤務振りに何か、不明朗な様子が見える。
「A君気分でも、悪いのかね」と問うた処只だまって、苦笑いしているのみ、どうも変だ。定時発破を終った後一人呼んで、退避壕で色々世間話しをし乍らそれとなく聞いて見た処、昨晩子供のこと、奥さんと口論になり、そのまま朝を迎へ今朝は食事もせずに勤務についたとか……これはいけない。この様な気分が……これはいけない。この様な気分が……これはいけない。この様な気分が……

一、話し相手と意見合を合わせる
「どうも暑い日が続きますね」
「然し昨日は最高気温が二十五度しかなかったよ」
「そうでしたか、然し五時ごろ降った雨で帰るとき大変だったろう」
「雨は五時頃じゃなく、六時十分すぎにはまだ降っていませんよ」
「これは相手の人は話したくないようになりますね!!」
「君A B、R H マイナスじゃない二、浅くとも広い話題を持つ

あのたった一つの小さいボタンにこの地球の命がかかっているのだと思うと人間の考えたこのすばらしい技術が又恐ろしく感じられるこのごろです。そして何の罪もない小さな子供達がなんにも知らないで滅亡してしまふのだが、ソ連、アメリカと聞く又実験かと叫びたくなる。去る九月ソ連が、続いてアメリカが夫々

ユーマアやウイントは楽しい気分を与えますが相手によっては、こちらが不まじめだと思われまますのではほどほどに。
四 相手に多く話させる
日常会話での、立派な聞き手は少ないのです。殆んど人は聞くより話そうとします。
「話上手は、聞き上手」などと云はれていますが、人に好かれる一番よい方法は人の話をよく聞いて心から興味を持ち、タイミングよく合つちを打つてやることです。

自分が話し手に回っているときにも、適当なタイミングで話題を変え相手に話を渡すことができるようになれば申し分ありません。相手に七話させ、自分が三話す位の割合で会話を進めていくのがよいのです。
五、会話の作法を守る
1 明かなく、楽しく話す。2 相手の話は真剣に聞く。3 話の横取りをしない。4 人の悪口は云わない。5 話を一人占めにしない。6 相手の弱点をつかない。7 自慢話をつつしむ。8 グチをこぼさない。9 議論をしない。10 場所を考えて話す。以上五つ条件をよく理解して、いつも楽しい会話が進められるよう心がけることです。



「そんな方程式知らないね」
「エ、知らない、血液型だよ」
「そう、血液型があるのか」
いくら相手の意見に合わせるといっ

チャーミングな会話

五つの条件

H

「君A B、R H マイナスじゃない二、浅くとも広い話題を持つ

一、話し相手と意見合を合わせる
「どうも暑い日が続きますね」
「然し昨日は最高気温が二十五度しかなかったよ」
「そうでしたか、然し五時ごろ降った雨で帰るとき大変だったろう」
「雨は五時頃じゃなく、六時十分すぎにはまだ降っていませんよ」
「これは相手の人は話したくないようになりますね!!」
「君A B、R H マイナスじゃない二、浅くとも広い話題を持つ

二、浅くとも広い話題を持つ
「君A B、R H マイナスじゃない二、浅くとも広い話題を持つ

三、楽しいふんいきを
「君A B、R H マイナスじゃない二、浅くとも広い話題を持つ

四、相手に多く話させる
日常会話での、立派な聞き手は少ないのです。殆んど人は聞くより話そうとします。
「話上手は、聞き上手」などと云はれていますが、人に好かれる一番よい方法は人の話をよく聞いて心から興味を持ち、タイミングよく合つちを打つてやることです。



横顔 拜見

今回は持丸清夫氏を紹介いたします。

氏は現在資材関係責任者としての要務にあり、三鉱山は勿論、船舶部自動車部と職域は多岐に亘る膨大な資材管理を特前の機敏な頭脳と性格でテキパキ裁き、能率向上に大いに寄与して居り、同僚間に信望が篤い氏は生粋の博多っ子で黒田武士らしく斗酒尙辞せずの酒豪と紹介したいが、実は一合呑むと、金時火事見舞の如き容相となる。下戸の横綱である。

昭和十一年渡満、阜新炭礦株式会社に入社、磁務課勤務として大いに活躍（良きにつけ悪しきにつけ）さ



れたとか、然し残念な事には終戦の訪れと共に苦き日に画いた一旗の夢は崩れ、会社は国民党委の接収する処となり、身は抑留され、苦力諸君と職場交代となり、立坑〇〇尺地下の中の仕事に課せられ、空腹と情けなき涙の採炭労働の六ヶ月を余儀なくされたとか、幸いにもその後中国政府の大名御旗ならすり、御旗一つ背負って、やっ

とこ佐世保港まで辿りついたとのことである。敗戦の動乱は夫々の人に又家庭に大きな変動をもたらした。持丸氏に於ては例外ではなかったがその変動には色々の形がある。氏が社内随一の美人女房を得たのもそもそのなりそれは終戦後の動乱にあると聞く、逆

境に交った愛情の深さが今日の琴瑟相和せる礎となったのであろう。従って家庭も至極円満でその奥さん孝行振りには正に万福社宅ナンバー一の一等亭主である。但し、時に麻雀で徹夜した朝は若干奥さんの細機嫌が斜めとなり、平身する。

氏は翌日庭の草取りを黙々として奉仕するとか？（異議あれば勘弁されたし）麻雀の紹介となったが詳しいに附言すれば氏の勝負度胸の良いいことは有名で、満貫を打ち込んでも眉一つ動かさぬ所はさすが、博打の本場、博多っ子らしい。更に氏の良い意味の美点を挙げるなら、一片の高慢さもない謙虚さであらう。又物腰も非常に柔らかく、上下なく言葉も丁寧である、この点は稍々もすれば批判の多い現代の若い人は以て簡とすべきであらう。然し氏にも誇示出来ない点もある。即ち非常な愛

電話のかけ方

○電話の会話

イ、ことばだけで伝え合う

相手が目の前にいる会話なら、自分の心は言葉以外に表情、身ぶり、手ぶりなどで伝えられますが、電話は相手が見えないので、言葉だけで伝える形式のものになりがちですから、注意すること。

ロ、要点を短く、ハッキリと天気の話を始めて、雑談をたらたら話す人がありますが、他の人に迷惑をかけるし、まらがいも起りやすいものです。できるだけ順序正しく耳で聞いてわかることばを使い、短く済

○正しいかけ方

① モシモシはやめよう。まず様心がけること、長距離の場合など、料金にも影響する事大。

電話をかけて相手が出たら、すぐ自分の名前(会社名)を云いましょう。相手が見えないためか、お互いに「モシモシ」「モシモシ」と云い合っています。非常に無駄なことです。

② ことばはハッキリと。ことばはハッキリとした発音で、ゆつくり話す、急ぐから早口にまくし立てて、相手にうまく伝えることはできません。

③ 要件は要点をつかんで。要点を忘れないように、発信メモをつくり、考えを整理してからかけて

○正しい受け方

① 電話に出る人は、家(会社)の代表です。氏名(会社名)をまっ先に云いましょう。

② 敬語を正しく使いましょう。「お父さん(〇〇さん)はお出かけになりました」というのは相手に失礼です。「父は(〇〇は)外出しております」というのが敬語の正しい使い方です。

③ 電話機のそばに居る人のおしやべりを通話に入れないように。

△正しい取りつき方



○退職お元気で

自動車 英 吉彦 10・9
今浦静人 12・12
四高坑 今田康弘 12・12

① 取りつぐときは、先方の名前を聞いてから、指名された人に伝えましょう。

② 長く待たせているときは、時々相手に呼びかけること。「恐れ入りますが、いま少しお待ち下さい」の一言が待っている相手には好感を持たれます。

③ ことばを受けたら、必ずメモをとっておき、先方に自分の名前を知らせましょう。

喜びと悲しみ

取締役所長 牧野正一

母堂森重清江殿 かねて療養中の所十月三十日逝去されました謹んでお悔み申し上げます。

○出産おめでとございます

- 事務所佐伯学、次女淳子 11・19
- 自動車、中生安広次男 10・16
- 遠郷坑岩倉清彦次男 9・10
- 四宮坑日高岩次女千秋 9・18
- 金山坑和田又男、長男明彦 11・24
- 入社よろしくおねがい致します。
- 自動車 本山照典 10・9
- 江崎日臣 10・7
- 工機部 高塚義久 8・1
- 河崎克美

○昇格おめでとうございます

- 遠郷坑 細石 清 8・1

編集 後記

師走の北風にシングルベルのリズムが街角を流れて、昭和三十六年暮れに行く。

あわただしい歳末号の編集が終了したら、すぐ又新春号の編集に取り組まねばならず、編集子は転々古舞い本号からタイプが仲々粋なものに変わりました。皆さんの盛大な御投稿を切に歓迎します。

